



平成29年5月10日

各 位

会社名 東芝機械株式会社
代表者名 取締役社長 三上 高弘
(コード番号6104 東証第1部)
問合せ先 執行役員総務部長 小川 和也
(TEL 055-926-5141)

連結子会社株式の減損処理およびのれんの一時償却による特別損失の計上に伴う

平成29年3月期通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期の決算において、当社が保有する連結子会社株式の減損処理（個別決算）およびのれんの一時償却（連結決算）を行ない、特別損失を計上いたしました。この処理に伴い、平成28年11月8日に公表した業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、配当につきましては、平成28年4月28日に公表した内容から変更はございません。

記

1. 連結子会社株式の減損処理（個別決算）

当社が平成24年9月に完全子会社化したTOSHIBA MACHINE (CHENNAI) PVT. LTD.（以下、「TMIC」）は、株式取得後のインド経済状況等により、当初計画に遅れが生じました。このため、同社株式の減損処理を行ない、関係会社株式評価損として2,874百万円を特別損失に計上いたしました。

TMICの業績は拡大基調にあり、当社グループの業績に貢献しており、今後も売上および収益拡大に努めてまいります。

また、当社の連結子会社のTOSHIBA MACHINE MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD.（以下、「TMMT」）は、近年の東南アジア地域の経済低迷を受けて業績が悪化したため、同社株式の減損処理を行ない、関係会社株式評価損として1,175百万円を特別損失に計上いたしました。

東南アジア景気については底打ち感が出てきており、TMMTは販売の拡大とともに生産効率の改善を図ってまいります。

なお、上記個別決算で計上した特別損失は連結決算では消去され、「2. 特別損失（のれんの一時償却）の計上について（連結決算）」に記述する特別損失が連結業績への影響額となります。

2. 特別損失（のれんの一時償却）の計上について（連結決算）

個別決算において、上記減損処理を行なったことに伴い、連結決算においてTMICに係るのれんの一時償却を行ない、のれん償却額として1,877百万円を特別損失に計上いたしました。

3. 平成29年3月期通期連結業績予想数値と実績の差異（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	110,000	4,200	5,000	3,400	22円37銭
今回修正予想（B）	111,327	4,473	5,406	1,776	11円87銭
増減額（B－A）	1,327	273	406	△1,624	
増減率（％）	1.2%	6.5%	8.1%	△47.8%	
（ご参考） 前期実績（平成28年3月期）	117,259	3,806	4,966	4,806	31円61銭

4. 差異が生じた理由

11月8日に公表した前回発表予想に比べ、売上高は1,327百万円、営業利益は273百万円、経常利益は406百万円上回る結果となりました。

しかしながら、前述の特別損失計上等により、前回発表予想に比べ、親会社株主に帰属する当期純利益は1,624百万円下回る結果となりました。

以上